



本社外観

○本社所在地: 岐阜県瑞穂市馬場春雨町
1丁目31番地

○事業概要: 太陽光発電システムの施工・
管理・運用、倉庫業、酒類の製造・販売

○常時使用する従業員: 183名
(2025年5月時点)

○現在の売上高: 23億円
(2025年3月期)

○法人番号: 7200001010632

○Web: <https://smart-eco-station.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



下田平 真樹
代表取締役

「挑戦と創造」でエネルギー・物流・農業をつなぐ地域未来のスマート・エコ・ステーションへ

私たちは「挑戦と創造」の精神のもと、スマートエネルギーの普及、地域物流の最適化、耕作放棄地を活用した農業・酒類事業の展開を通じて、地域と未来をつなぐ“スマート・エコ・ステーション”を構築してきました。100億円企業への成長は、規模の拡大だけでなく、私が別に経営する岐阜電力との連携による地域エネルギー自立の促進、脱炭素社会の実現、地域経済を支える安定雇用の創出、そして社員一人ひとりが誇りを持って働ける職場の実現に向けた道のりです。私たちは、持続可能な地域社会の未来と、社員の人生に責任を持つ企業として、成長を通じた社会的価値の創出に挑み続けます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

当社は再エネ・物流・農業醸造の3領域で事業を拡大し、現在の売上約20億円から2028年に100億円を達成します。年平均71.0%の成長を実現するため、NON-FIT型太陽光事業で30億円、物流拠点拡張で10億円、ワイン輸入・製造・販売で55億円を見込んでいます。DXと人材戦略を併せて進め、地域循環型のスマート・エコ・ステーションとして持続的成長を目指します。

課題

100億円成長に向けた課題は、再エネ施工人材の確保、物流業務の自動化と倉庫拡張に伴う初期コスト負担、ワイン事業のブランド浸透と法制度対応、そして全社的な人事制度・人材育成体制の未整備です。加えて、再エネ事業では系統制約や制度変更など外部リスクも存在します。これらの経営基盤の整備と成長戦略の同時推進が、持続的なスケラビリティ実現の鍵となります。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

NON-FIT型太陽光発電所の設計・施工・運用を一貫展開し、岐阜電力と連携した地域電源モデルを確立。物流では倉庫を4,000坪から6,000坪に拡張し、自動倉庫導入により収益性を向上。観光型「省力化ワイナリー事業」において、農業・醸造では耕作放棄地を活用し、自社栽培・醸造・越境ECにより地域ブランドを確立するとともに、輸入ワインの取り扱いを積極的に行います。人材・DX・広報投資も強化し、地域循環型・高成長型のスマート・エコ・ステーションモデルを完成させます。

実施体制

社長直轄の「成長戦略推進本部」を中核に、再エネ・物流・農業醸造の各事業責任者が一体となり、戦略の立案・実行を推進します。再エネでは岐阜電力との連携による需給調整と非FIT案件の最適運用、物流ではWMS活用と倉庫拡張に対応した人材配置、農業・醸造では6次産業化に対応したブランド戦略を展開。加えて、人材採用・教育・評価制度の整備、IT・財務・広報など横断機能を本部が統括し、部門横断での価値創出と100億円成長基盤の構築を実現します。